

阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係る
プロポーザル評価基準

令和7年6月

阿賀野市企画財政課デジタル化推進室

目次

1. 全体の評価項目	1
2. 企画提案書	1
(1) 評価基準	1
(2) 評価項目	1
3. 機能要件確認書	3
(1) 評価基準	3
(2) 評価点	3
4. 見積書	3
5. プレゼンテーション及びデモンストレーション	4
(1) 評価基準	4
(2) 評価項目	4

1. 全体の評価項目

表1 全体の評価項目

評価対象	配点
企画提案書	400点
機能要件確認書(様式6)	200点
見積書(様式7)	100点
プレゼンテーション及びデモンストレーション(質疑応答含む。)	300点
合計	1,000点

2. 企画提案書

(1) 評価基準

表2 企画提案書の評価基準

評価基準	点数
優れている	配点×1点
やや優れている	配点×0.8点
普通である	配点×0.6点
やや劣っている	配点×0.4点
劣っている	配点×0.2点

(2) 評価項目

表3 企画提案書の評価項目

No.	評価項目	配点	審査基準
1	提案者概要・導入実績	30点	・ 会社の規模、財務・経営状況から本件を履行できる能力はあるか。 ・ ISO 関連の認証資格等を取得しているか。 ・ 本市と同等規模以上の地方公共団体において、グループウェアシステムの運用の実績が十分であるか。
2	基本方針	40点	・ 以下の観点の提案方針が、実績に基づき、明確に示されていること。 - ア 導入実績 - イ 開発ベンダーからのサポート - ウ 安定稼働 - エ サービスレベルの維持 - オ 職員の利用率向上

			カ 業務効率化の実現
3	業務管理	40点	・ プロジェクト管理及び業務を確実に遂行できる体制が整っているか。 ・ 業務に携わる担当者について、他自治体で同様の業務経験が十分にあるか。 ・ 運用開始までのスケジュールが明確であり、無理のないものとなっているか。
4	システム構成	30点	・ システム構成、ネットワーク等が図示され、その特徴が示されているか。 ・ 構成は長期間（最低5年間）の使用に耐えるものとなっているか。 ・ システムを安定的に稼働させるための対策が示されているか。
5	システム概要及び業務効率化	60点	・ 提案するシステムの概要や設計コンセプト等は、業務の目的に沿った妥当な内容であるか。 ・ 利用者の立場として、使いやすく見やすく、直感的に操作できる画面構成となっているか。 ・ 簡易な設定変更は、職員でも実施できる仕組みとなっているか。 ・ 業務効率化につながる機能や運用方法が明示されているか。
6	セキュリティ対策	60点	・ 障害対策やウイルス対策は充実しているか。 ・ 職員の不正防止対策は充実しているか。 ・ データバックアップやログ管理、権限許可設定の仕組みは適切か。
7	職員研修	50点	・ 職員に対する研修についての考え方と具体的な内容、実施体制、実施計画等が示されているか。
8	システム運用支援及び保守対応	50点	・ 運用におけるサポート体制は（問合せ対応等）は充実しているか。
9	契約期間満了後の対応	20点	・ 他システムに移行する場合のデータ移行及び消去方法が明確に示されているか。
10	自由提案	20点	・ 見積計上額の範囲内で実現可能であり、かつ、本市に有的となる内容となっているか。

			いるか。
合計		400点	

3. 機能要件確認書

(1) 評価基準

表4 機能要件の評価基準

回答	内容	点数
◎	パッケージの標準機能で対応できる(カスタマイズ等不要)。	1点
○	無償カスタマイズ又は標準機能による代替運用が提案できる。	0.7点
△	有償カスタマイズでの対応が提案できる。	0.3点
×	対応不可	0点

表5 必要性の区別配点

必要性	内容	配点
必須機能	実装が必須である機能。	2点
任意機能	実装が任意である機能。	1点

(2) 評価点

表6 機能要件確認書の評価点

評価項目	配点	内容
機能要件	200点	各機能項目の回答結果(必要性の区別配点を乗じたもの)を踏まえて、以下の計算式で評価点を算出する。 【計算式】 機能要件評価点 = (機能要件採点結果 / 400(配点数合計)) × 200

4. 見積書

表7 見積書の評価点

評価項目	配点	内容
価格	100点	見積書の価格に関する評価点の算出については、以下の計算式で評価点を算出する。 【計算式】 見積価格評価点 = (全見積書の最低価格 / 見積書の価格) × 100

5. プレゼンテーション及びデモンストレーション

(1) 評価基準

表8 企画提案書の評価基準

評価基準	点数
優れている	配点×1点
やや優れている	配点×0.8点
普通である	配点×0.6点
やや劣っている	配点×0.4点
劣っている	配点×0.2点

(2) 評価項目

表9 プレゼンテーション及びデモンストレーションの評価項目

No.	評価項目	配点	審査基準
1	全体像の把握	50点	- 別紙「阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係る仕様書」の趣旨を理解し、課題の解決に有効な提案内容となっていたか。 - 提案は雛形的な内容ではなく、現在の本市を取り巻く環境や運用を踏まえた内容となっていたか。
2	説明内容の信頼性	50点	- 説明にあいまいな内容がなく、適切かつ明瞭な用語・表現で根拠を示しているなど、信頼性がある内容だったか。 - 不確実性を含む説明がある場合は、その根拠が示されており、妥当な内容となっていたか。
3	提案内容の実現性	60点	- 本件の実施に当たり、遂行できる能力を有すると判断できたか。 - 提案書のシステム構成、受託業務内容に矛盾はなく、無理がない実現可能な構成になっていたか。
4	デモンストレーション	100点	- システム画面は見やすく、直感的に操作できるデザインとなっていたか。 - 各機能利用時のイメージでき、職員が利用しやすいシステムになっていたか。
5	追加提案	20点	- 本市にとって有益であり、効果がイメージできる提案となっていたか。 - 本市の課題解消に直結する提案となってい

			たか。
6	質疑に対する対応	20点	・ 質疑に対し、積極的かつ意欲的な対応であったか。 ・ 質疑の意図・目的を理解し、的確かつ信頼できる内容で、評価できる回答となっていたか。
合計		300点	